

「東アジアの船 ——木造船技術とその構造——」

日時：2017年7月8日（土） 会場：神奈川大学横浜キャンパス 3号館 305 講堂

[プログラム]

■ 開会挨拶

田上 繁（神奈川大学 国際常民文化研究機構運営委員長）

■ 趣旨説明・活動経過（中国調査概要）

昆 政明（神奈川大学 国際常民文化研究機構共同研究代表）

王 蕾（神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科博士後期課程）

■ パネル報告

「東アジアの木造船文化継承のゆくえ」

出口 晶子（甲南大学教授）

「目で見る日本の木造船」

出口 正登（写真家）

「船体構造からみた船材接合概念の地域性」

廣瀬 直樹（氷見市立博物館主任学芸員）

「沖縄・越来家船大工の造船技術——日本・中国福建省・台湾基隆市と比べて——」

前田 一舟（うるま市立海の文化資料館学芸員）

「大陸と列島の接合用具と操船具を比較する」

織野 英史（瀬戸内海歴史民俗資料館専門職員）

「中国泉州地区の木造船時代における漁業生産技術

——崇武鎮と祥芝鎮のフィールドワークを基礎として——」

王 亦錚（閩南師範大学閩南文化研究院講師）

■ コメント・総括

「船大工の視点から」

越来 勇喜（越来造船 沖縄木造船船大工手元）

「日本の船の発達史への接近の試み——棚板造りと面木造り——」

安達 裕之（日本海事史学会会長）

■ 総合討論

司会

小熊 誠（神奈川大学 国際常民文化研究機構運営副委員長）

昆 政明

■ 閉会挨拶

小熊 誠

※王亦錚氏は当日ご都合により未発表